奈良市民だより
No. 409

奈良市民憲章

奈良は日本のふるさと。美しい自然とすぐれた文化遺産を守り、古都に住むものにふさわしい自覚と誇りに生きましょう。

奈良は未来をひらくまち。青少年は健康で、はつらつと、正しく強い人間になりましょう。

奈良は善意のまち。みんなのしあわせのために、おたがいに助けあいましょう。

奈良は清潔で平和なまち。旅行者にはあたたかく親切に接しましょう。

奈良はのびゆくまち。市民の創意で、伝統と調和のとれた新しい住みよいまちづくりをしましょう。

市民のうごき

1月15日現在（前月比増）

人口	282,665人	(801)
男	137,258	(395)
女	145,407	(406)
世帯数	89,210	(167)

市政発展へ献身的協力に感謝

市長から感謝状おくる

奈良市自治連合会（七百三十一町、七百四十自治会）の昭和五十四年自治会長感謝状贈呈式が一月二十三日市役所正庁で開かれました。

式には鍵田市長、岡本市議会副議長ら市関係者はじめ、北尾光二市自治連合会長ら各地区から自治会長六百人が出席しました。

鍵田市長は「日ごろから奈良市や地域発展のため献身的にご協力いただき感謝しています。昨年は百年に一度という異常渇水に見舞われたが、みなさん方の徹底した節水にご協力いただき、おかげで乗り切ることができました。

昨年一番緊張したことはこの水問題と取組んだことであります。また一番愉快を感じたのは中国のハリ・キュウの導入によって難病者を救うという希望の灯を点じたことであります。このほか中国の鄧小平副首相をみなさんと一緒に迎えて奈良のもつ使命を果たすことができました。

ことしは波乱の多い年であると思います。こうした年にこそ芽を出す節でもあります。奈良市は将来に向かって大きな芽を出さねばならない。ために平城宮の復元による史跡博物館の建設計画、百万本植樹の達成、平城京時代の庭園を復元し、そこに文化センターを建設するなど、いろんな面で将来百年に向けての基礎的な施策を進めてまいりたい。今後もみなさんと一緒に手を携えて奈良のまちをりっぱに発展させるため、一層のご協力をお願いいたします」とあいさつしました。

北尾連合会長あいさつのあと、自治会活動を通じて奈良市政発展に永年尽くした三百六人（別項）に感謝状が鍵田市長から贈られました。

このあと岡本市議会副議長が来賓のあいさつをし、ついで三十年近く自治連合会長を勤め、このほど退任した阪本善雄氏が受彰者を代表して「役は退いても今後さらに社会に奉仕させていただくことを誓います」と述べました。

自治会長六百人が集まって盛大に感謝状贈呈式

感謝状を贈られた方

――順不同・敬称略――

【地区自治連合会長退任者】阪本善雄（椿井）▽広瀬新作（帯解）▽柳田一雄（精華）▽西海幸次（西大寺北）▽藤本芳次（富雄南）▽稲田武一（平城ニュータウン）▽岩名俊夫（田原）

【二十年勤続】中井秀雄（雑司西）▽西岡玉信（紀寺北方）▽藤本熊司（杉ヶ西）

【五年勤続】山田博（光明院）▽酒井進（馬場）▽竹村源次郎（東向南）▽上村次郎（東向中）▽安藤キク（西御門）▽福島博次（鶴福院）▽久野秀治（公納堂）▽安立元路（築地ノ内）▽浦川泰一（幸）▽南畑昇（南紀寺四）▽岡崎義一（南紀寺五）▽粟井茂（般若寺官舎）▽岡田治兵衛（東高座）▽丸本惠一（釜屋舗）▽乾健二（陰陽）▽杉村政治（杉ヶ東）▽中辻正治（南京終一丁目第一）▽岡本貞人（南京終七丁目第一）▽熊瓶義治（桂木）▽吉田友三（南半田西）▽村上市太郎（北半田中）▽井熊貞一（押小路）▽伊勢政男（法蓮西）▽吉岡新逸（油阪東）▽蜂香梅治郎（三条添川）▽高橋松太郎（大宮一丁目第二）▽奥野清春（大宮一丁目第四）▽大西重夫（八幡）▽高橋義一（北之町北）▽米島惣太郎（清水永井）▽本山武雄（売間三）▽乾口惣市郎（横領）▽杉本政義（佐紀中二）▽中井正清（西大寺芝一）▽中村進（西大寺芝二）▽仲井清次郎（青野）▽池澤秀治（菅原東）▽岩上三郎（あやめ池南二）▽白石琢磨（あやめ池南四）▽平岡武男（登美ケ丘四）▽浅川増市（富雄北一）

【一年以上で退任】藤本芳次（石木）ら二百五十五人

成人式に二千五百人

覚悟もあらたに大人の仲間入り

昭和五十四年中に満二十歳になる新成人を招いてお祝いする奈良市の成人式が「成人の日」の一月十五日、市中央体育館で盛大に行なわれ、新成人二千五百人が参加。

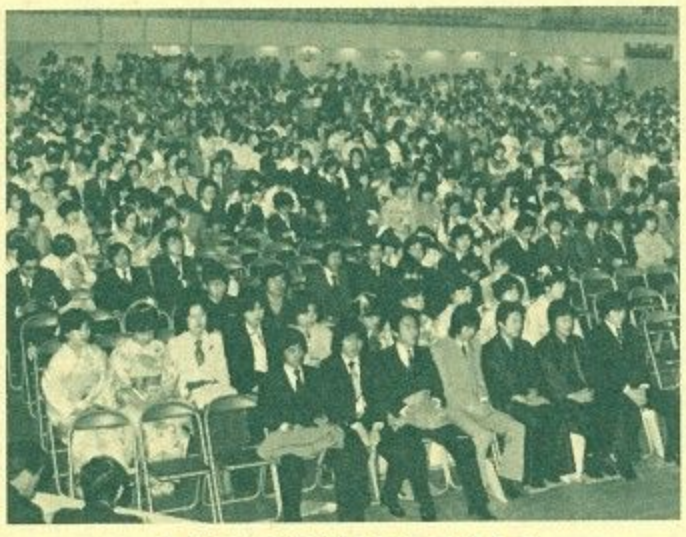
暖冬異変から一転した寒風にほおを染めた若人たちは、受付けで記念品（成人手帳・「奈良のあゆみ」・梅の苗木など）をもらって会場へ。

午前十時、米田市教育委員長の開式のことばにはじまり君が代斉唱、つづいて新成人を代表して柏木一彦さん（会社員、丹生町）と蔵田喜美子さん（会社員、神殿町）の二人が力強く市民憲章を読みあげ、参加者全員が声高らかに唱和しました。

お祝いに立った鍵田市長は「成人式を迎えられおめでとう。今日の大事なことは成人の覚悟を持つことです。私はそれを立志と言っている。今日は人生の節であり、この節から大人としての芽を出してほしい。今までは両親や社会からつくしてもらってきたが、今日からは大人として人のためにつくさねばなりません。人生の幸せを感じるのは人に幸せを与えたときです。自分一人が幸せになれる人生はありません。諸君は両親や社会から健康、努力、忍耐、知恵という大きな財産を与えられている。これを駆使して人のためにつくしてほしい。またこの奈良のまちで成人式を迎えた意義は大きい。日本民族の心のふる里、日本文化の発祥の地で成人式を迎えたという誇りを持ってほしい。新平城京のまちで、人生における大きな節を迎えた機会に立志し、誇りを持ち、覚悟を新たに人生を立派にする船出をしてください」と新成人に励ましのことばを贈りました。

ついで加藤市議会議長は「めでたく成人式を迎えられたが、これからが大切です。今日からは健康に注意し、一生を通じての仕事を愛するようにつとめてください」とお祝いを述べました。

同十一時三十分式典を終わり、会場前は晴れ着姿で記念写真をとりあうもの、久しぶりに顔を合わせた友人と話に花を咲かせるもの、この日を記念して出張の献血車にかけ込んで献血するものなど、若やいだ気分が充満。この日の奈良は若草山焼きと重なって観光客も多く、新成人を加えてはつらつたるにぎわいとなりました。



2,500人若人が参加して成人式

本号8ページ

4・5面　「新成人と市長との座談会」特集

6・7・8面　「市政に関する世論調査」特集

このため市政ニュース、お知らせ記事は2・3面に移しました。

発行―奈良市役所広報公聴課（奈良市北新町61の1）　電話（34）1111番　〒630　毎月1日・15日発行　全戸配布　　印刷―共同精版印刷株式会社

「西安の間」でなごやかに歓談（右から鍵田市長、胡院長、1人おいて符浩大使、谷羽胡院長夫人）

市長と和やかに歓談

胡中国社会科学院長夫妻ら市役所に表敬訪問

日本学士院百年記念式典に出席のため来日していた中国社会科学院の胡喬木院長と谷羽夫人（中国科学院計画局長）が、符浩駐日中国大使とともに一月二十四日奈良市役所を訪れ、鍵田市長を表敬訪問しました。

「西安の間」に案内された一行は鍵田市長はじめ加藤市議会議長、岡本同副議長、各界代表らとなごやかに歓談。

胡院長は「奈良市が中日両国の文化の交流および友好のしるしとなる貴重な文物、文化をよく保存されていることに中国人民は奈良市と奈良市民に感謝しています。私たちは奈良市民に学び、また友好を深めるため今日奈良に寄せていただきました。中日両国は永い歴史的背景のなかで、ごく一時期を除いてはずうっと友好で結ばれてきました。これは世界で例のないことです。両国人民はお互い信頼しあって友好関係がいつまでも続くようにもっていかなければなりません。この点において永い歴史をもつ西安と奈良両市が友好都市提携しているということは大変貴重なシンボルであり、全人類の逸話だと思います」とあいさつ。

鍵田市長は「われわれ日本人は千二百年前中国からいろんなことを学びました。今もまたお互い学びあい交流を深めていきたいと思っています。奈良市が今日あるのは長安（現西安市）から文化を導入させていただいたおかげです。八世紀の日中の関係は太陽と地球の関係であり、母と子の関係にあります。母なる大陸の中国から母乳を吸って日本という子供が成長しました。その母のご恩は忘れてはならない」と述べました。

これに対して胡院長は「それはちがいます。太陽が日本で、地球が中国です」とけんそんすると一同大笑いする一幕もあり、友好ムードにつつまれました。

奈良市役所を辞した一行は、東大寺と高畑町にある旧志賀直哉邸、鑑真和上ゆかりの唐招提寺を参観しました。

延べ一、三六七人

剣道・柔道・座禅に一念

けいこ　げいこ　寒げいこ

市教育委員会と市武道振興会共催の第六回市剣道・柔道・座禅の寒げいこが、一月十九日から三日間、市中央武道場で開かれました。

初日の十九日は最低気温が氷点下を割る冷えこみ。そのなかを剣道に二百四十八人、柔道に六十六人、座禅に四十人、それにわが子のけいこぶりを見守る父兄らを加えて計四百十五人が参加。そのなかには女性剣士四十人や最年少の平井陽出一・山口匡知両君（いずれも小学校二年生）らの可愛い姿もみられました。

けいこに先立って開会式で市剣道連盟名誉会長の鍵田市長は「寒げいこの目的は自分に克つことと正しい技を習うことにある。先祖たちは早朝から寒げいこをやっていた。われわれはその日本人の道を習うため、そのあとを誇りをもって継いでいる。一生懸命けいこに励み、自分に克って人のためにつくす人間になってもらいたい」とあいさつ。ついで加藤市議会議長が励ましのことばを述べました。

けいこは剣道、柔道、座禅の三会場に分かれ、自ら寒中けいこ着姿で剣道を指導する鍵田市長はじめ多数の指導員の指導で、打ち込み、切り返しなどの基本動作から、かかりげいこ、相互げいこなど気迫のこもった各種けいこに汗を流しました。

寒げいこは日を追うごとに参加者がふえ二日目は四百二十人、最終の三日目は五百三十二人で三日間で延べ千三百六十七人がけいこに励みました。

早朝の寒げいこに励む剣士たち（中央武道場で）

市長から――感謝状

戦没者遺族の集い

市遺族会（東雲茂男会長、三千九百人）主催の「戦没者遺族の集い」が一月十二日午前十時から市役所正庁で開かれ、遺族約五百人が参加しました。

英霊への黙とうのあと、地区遺族会に功労のあった十三人に鍵田市長から感謝状が贈られました。このあと鍵田市長が「英霊天国、遺族天国のまちをつくりたい」とあいさつし、加藤市議会議長らが祝辞を述べました。

最後に「遺族は明日に向かって明るく強く生きます」なども三項目の運営方針を決めました。

感謝状を受けた人はつぎのとおり。（順不同・敬称略）

前川勝（西の京町）▽高井志津夫（秋篠台）▽上田キシノ（西大寺国見町二丁目）▽菊田コウ（北永井町）▽岩崎正子（秋篠梅ケ丘町）▽北川マツノ（杏南町）▽青木トミヘ（あやめ池南一丁目）▽掛樋カツエ（雑司東町）▽長部谷千代子（大柳生町）▽岡田徳義（大森町）▽河口慶信（誓多林町）▽親木茂（三碓町）▽嶽源一（興ケ原町）

小浜市物産と観光展

姉妹都市福井県小浜市の「物産と観光展」が二月十六日から十八日までの三日間、奈良商工会議所（登大路町）一階で開かれます。新鮮な海の幸や特産品が好評を博し今回で十一回目。

開場は、十六・十七両日は午前十時～午後六時、十八日が午前十時～午後四時です。

小浜市直送の小ダイのさざづけ、カレイ・ワカメなどの海産物、若狭和紙、民芸品などの展示即売と若狭メノウの実演販売などで両市の友好を深めます。

16～18日、商工会議所で

水道管にも防寒着

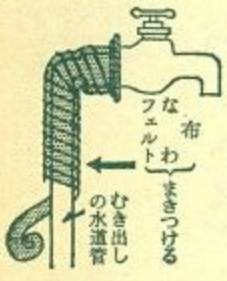
厳寒時の破裂防止に

厳しい冷えこみによって気温が氷点下になると水道の水が凍ったり、時には水道管が破裂したりすることがあります。

水道管の凍結による破裂は戸外の、とくに日陰や家屋の北側にあたる冷たい空気にさらされているものに多いので、このような水道管にはつぎのことに注意して、早目に冬仕度をしてください。

◇凍結の予防

地上に露出した水道管には図のように布、なわ、フェルトなどを巻きつけて、寒風が直接あたらないようにする。



◇凍結・破裂したとき

①凍てたときは水道管にタオルや布などを巻きつけ、ぬるま湯をゆっくりかけてとかす。急に熱湯をかけると管が破裂します。

②水道管が破裂したときは、止水センまたはメーターボックスの中にあるバルブを締めて水を止め、破裂した個所に布やテープを巻いてすぐに市水道局か水道局公認の工事店へ連絡してください。

◇水道事故の連絡先

▽水道局サービスセンター（☎㉔一一八一）

▽西部営業所（☎㊹四四七一）

鹿も見える奈良の絵地図

……石原さんが寄贈……

たずまいがひと目でわかる鳥かん絵地図を描いているイラストレーター石原正さん（吹田市在住）が一月十一日市役所を訪れ、このほど完成した奈良市の絵地図を寄贈しました。絵地図は旧市内の中心部の南北二キロ、東西三キロを航空写真をもとにさらには自分でまちや公園を歩いて家の一軒、木の一本を確認しながら描きあげたもの。公園では鹿が草をはみ、鴻ノ池では二羽の白鳥が泳いでいるのも描かれており、あたかも飛行機から奈良のまちを見おろしているよう。

三千分の一と四千二百分の一のパネルを受取った鍵田市長は細かなていねいな仕事に感心し「今度は新市庁舎の入った地図もつくってほしい」と話していました。

文化財

防火ポスター

市教育委員会が、文化財防火週間（一月二十三日～二十九日）にちなんで市内の小・中学生から募集した文化財防火ポスターは四百二十二点の応募があり、審査の結果、入選作品がつぎのように決まりました。なお入選作品は一月二十二日から二月三日まで二回にわけて南都銀行本店ロビーで展示されています。

【金賞】笠尾圭子（三笠中一年）▽松崎尚美（同）

【銀賞】田仲利文（登美ヶ丘中二年）▽並川清成（椿井小二年）▽林慶子（三笠中二年）▽久保田剛平（富雄南小四年）

【銅賞】一村真紀（富雄中二年）▽西口奈美（済美小六年）▽林卓司（佐保小三年）▽松本百合子（女子大附中一年）▽大林久恵（鼓阪小六年）▽辰巳智恵（済美小五年）

【入選】中川健吾（椿井小四年）ほか六十七人

2月15日～28日は

固定資産税
都市計画税
（第4期分）
の納期です

2月1日～28日は

下水道事業
受益者負担金
（第3期分）
の納期です

歳末たすけあいに

72件、273万余円

市社会福祉協議会が中心となって、昨年末全市に展開した「歳末たすけあい募金運動」には、個人五件、自治会など団体六十七件、計七十二件で総額二百七十三万六千十円の愛の募金が集まりました。また衣類や石けんなど六件の物品寄付がありました。

新自治会長

（順不同・敬称略）

【地区自治連合会長】田原地区＝大東功【町内自治会長】雑司東町＝栗原彦治▽長尾町＝伊藤節子▽立石町＝辻本千也▽大森町第二＝浅岡照夫▽大森町第三＝西田典貞▽大森町第四＝市川義治▽南京終町七丁目第三＝松本栄夫▽八軒町日光ハイツ＝井川信一▽奈良山町＝森井堯▽梅園町＝丸野親章▽中清水町＝名和芳之祐▽狭川両町＝奥西秀夫▽西狭川町＝岡村喜弘▽狭川東町＝西井正▽下狭川奥町＝大西利定▽下狭川門前町＝前田實美▽下狭川上町＝松原敏隆▽下狭川下町＝奥田武▽広岡町＝大矢博章▽柳生町＝神田清一▽柳生下町＝岡田尹男▽興ケ原町＝井久保倭男▽邑地町＝下久保友夫▽大保町＝芝一雄▽丹生町＝辻政春▽北野山町＝北村勝美▽大宮町一丁目第一＝垣内成元▽下狭川中町＝森本光司

青少年児童会館

（市内西木辻八軒町、電話㊀七〇三七番）

奈良の歴史教室　現在の奈良ができた歴史的背景を、身近なまち並みや人々の生活などを通してわかりやすく学習します。

とき＝二月十八日～三月二十五日の毎日曜日、午前十時～正午▽参加者＝小学校四年生～六年生二十人▽内容＝生活のはじまり、主要行事とその移りかわり、奈良のまち並みなど▽講師＝佐々木正孝氏

受講希望者は水曜日を除く日の午後に電話で申し込んでください。

三笠公民館

（市内大宮町一丁目、電話㊀〇五一五番）

楽面づくり教室　とき＝三月三・四日の午前九時半～午後五時▽定員＝市内在住の成人二十人（超過のときは公開抽選）▽受講申し込み＝往復はがきに教室名・住所・氏名・年齢・電話番号を書いて二月二十日（必着）までに▽材料費は自己負担。

雅楽演奏会

17日、西部公民館で

市民に雅楽に親しんでもらおうと、社団法人南都楽所では市と市教育委員会の後援でつぎのように第五回雅楽演奏会を開きます。わかりやすく鑑賞してもらえるよう、楽器や曲目の解説も行ないます。入場は無料。

とき＝二月十七日（土）午後二時半から▽ところ＝市西部公民館（近鉄学園前駅下車東へすぐ）▽演奏曲目＝＜管絃の部＞双調音取（そうじょうねとり）胡飲酒破（こんじゅのは）鳥急（とりのきゅう）＜舞楽の部＞胡蝶（こちょう）賀殿（かてん）貴徳（きとく）

健康メモ

◉せきは体の〝防衛反応〟

せきは、体外からの影響で起きる場合と、体内での刺激による場合とがあります。体外からの影響とは、ほこりやタバコの煙、排気ガスなど、体内での刺激は鼻やのど、気管支、肺などの炎症による分泌物などがあります。

私たちの吸い込む外気にはほこりやゴミ、バイ菌などが混っています。これら身体に不都合な異物が肺に入るのを防ぐのが気管支の粘膜です。異物がはいると粘液の分泌がふえ、せきによって異物と分泌物を体外に送り出します。せきは、体に不都合な刺激を排除しようとして起こる体の〝防衛反応〟というわけです。せきがよほどひどくない場合は、部屋に湯気を立て、あたたかくして寝るのが一番です。

火災共済制度へ ご加入をおすすめします

◆会費（一時納め）

建物	＝730円（1日2円）
家財	＝365円（1日1円）

◆火災共済見舞金

	建物	家財
全焼	50万円	30万円
半焼	25	15
一部焼失	10	6

◆被災者見舞金

死亡	50万円
ケガ	2,000円～30万円

問合せと申し込みは

市福祉第1課または出張所・連絡所

休耕田の枯草 刈って下さい

国の米作調整政策により市内でも全水田の約三%が休耕田となっています。この休耕田の多くが荒廃して雑草が繁茂し、枯れ草のまま放置され、野ネズミやモグラ、野バトなどの巣となり、鳥獣や害虫がはびこり、さらには火事の危険性もあります。休耕田の所有者は一日も早く雑草や枯れ草を刈り取ってください。

＝農林課

母子福祉大会

18日、老春の家で

卒業シーズンをひかえ、市と市梅華会が共催で、母子家庭の中学三年生とそのお母さんのこれまでの苦労をねぎらう母子福祉大会を開きます。

市内に住んでいる母子家庭の母と今年三月に中学校を卒業する子を招くもので、参加希望者は市福祉第二課（北新町、☎㉞一一一一）へ申し込んでください。

大会は二月十八日（日）午前十時から「老春の家」（法蓮町鴻ノ池）で開かれます。

花の苗市

とき　2月11日（日）午前8時

ところ　近鉄奈良駅前行基噴水広場。近鉄学園前駅前西部公民館横広場

学校給食用物資 納入業者の登録

市学校給食会（尼ケ辻町一四〇、☎㊸五四七〇）では、五十四年度の市学校給食用物資納入業者登録をつぎのように行ないますので、希望者は同給食会へ申し込んでください。応募用紙は同会でお渡しします。

業種＝①鶏肉（冷凍を除く）②鶏卵③冷凍食品④コロッケ（生ジャガイモを原料とし約二万食以上のコロッケを掲げる能力をもつこと）⑤練製品（かまぼこ、ちくわ）▽応募期間＝二月二十日～二月二十八日（午前九時～午後五時、土曜日は午前中）

救急員養成講習会

ガールスカウト奈良県支部では「救急員養成講習会」をつぎのように開きます。対象は青少年団体指導者と十六歳以上の一般五十人で、日赤救急員の資格が得られます。

受講希望者は講習会当日に会場で受講料を添えて受付けをしてください。

とき＝二月十日（土）～十二日（月）の午前九時半～午後四時半▽会場＝県青少年会館（半田開町池之上七二―七、☎㉒五五四〇）▽受講料＝千円▽講師＝日赤救急法指導員▽その他＝筆記用具・三角巾・ロープ・弁当を持参。

旧軍人・軍属・従軍看護婦で恩給欠格の方へ

旧軍人軍属恩給欠格者連盟奈良県支部では、旧軍人、軍属、従軍看護婦で恩給年限に満たない人にも恩給支給を実現する運動をしています。旧軍人、軍属、従軍看護婦で恩給や年金を受けていない人で、該当される方は同連盟奈良県支部事務局（中山町一四三六、中村乾造氏宅）まで連絡してくださいと呼びかけています。

市民合唱団 団員を募集

奈良市民合唱団は新入団員（十六歳以上の男二十人、女若干人）を募集しています。入団希望者は二月二十日までに住所・氏名・年齢・性別・電話番号・合唱経験の有無をはがきに書いて、市内学園北二丁目、西部公民館内市民合唱団事務局へ申し込んでください。

なお同合唱団は毎土曜日午後六時半から八時半まで同公民館で練習をしています。会費は月七百円程度。

1歳児健康診査

市衛生課では一歳六ヵ月児の健康診査をつぎの日程で行ないます。対象児は昭和五十二年三月一日～同年六月三十日生まれで、問診票を送りますが、最近転入した人、その他の事情で問診票の届かない人は直接会場へきてください。

健診内容は問診、身長、体重・胸囲の測定、診察、育児相談などで、時間は興東公民館と田原公民館は午後二時～三時、その他は午後一時半～二時半です。母子手帳をお忘れなく。

2月16日（金）右京・富雄第三・富雄南各地区＝西部公民館で。

2月19日（月）佐保・鼓阪・大安寺各地区＝中央公民館で。

2月20日（火）鳥見・あやめ池・西大寺北各地区＝西部公民館で。

2月21日（水）都跡地区＝中央公民館で。▽柳生・大柳生・相和各地区＝興東公民館で。

2月26日（月）明治・帯解・精華各地区＝南部公民館で。▽田原・水間両地区＝田原公民館で。

歯 フッ素塗布

申込み、20日まで

市歯科医師会の協力でむし歯予防のフッ素塗布を行ないます。今回は昭和五十年十月一日～同五十一年四月一日生まれの幼児で、希望者は二月二十日までにつぎの要領で申し込んでください。料金は無料。

市衛生課、各出張所・連絡所、古市・東之阪・横井各隣保館備えつけの用紙に記入▽電話かはがきの申し込みは住所、世帯主名、幼児名、生年月日を明示して市衛生課（北新町六一―一、☎㉞一一一一）へ。

実施場所は県歯科医師会館内口腔センター（二条町二丁目）で、日時は申し込み者にはがきで通知します。

フランス刺しゅう教室

県内職相談センター（大森町、☎㉒五七二九）では主婦の内職向けのフランス刺しゅう教室をつぎのように開きます。受講希望者は同センターへ電話で申し込んでください。

とき＝二月八日～二十三日の毎木・金曜日▽ところ＝西奈良県民センター（登美ケ丘二丁目）▽定員＝先着十五人

明日をつくる生活展

県と経済企画庁では〝資源は有限、工夫は無限〟をテーマに、つぎのように「明日をつくる生活展」を開きます。

とき＝二月二十三日～二十八日、午前十時から午後六時▽ところ＝奈良ファミリー四階催会場

資源・エネルギーの現状・開発や省資源・省エネルギーの目標などの展示と電気・ガスなどの相談コーナーもあります。

ゴミ収集 休日の振替え収集

二月十二日（月）は「建国記念の日」の振り返え休日で、この日の「燃やせるゴミ」の収集は休みます。この日にあたる地区は十四日（水）に収集します。

これにともなって十四日（水）の「燃やせないゴミ」の収集は休み、つぎの収集日二十一日（水）に収集します。

善意ありがとう 善意銀行

【昨年の分】

十一月十日　三条栄町中村良さんから六千円。▽神功町西川四郎さんから和楽園へ百万円。▽秋篠三和町八木喜吉さんから中古衣類二箱。

同十三日　椿井地区民生児童委員協議会から善意の小箱義金八千五百六十六円。▽学園大和町野田治子さんから千円と中古衣類一包。▽五条畑町子供会から中古衣類一箱。

同十五日　椿井町村上一夫さんから愛の定期便三千円。

同十六日　飛鳥地区民生児童委員協議会から善意の小箱義金五千円。▽都跡局消印の愛の匿名定期便五千円。▽法華寺東町西村祐一さんから千二百八十円とジャンパー一点。

同十七日　佐紀町東垣内桂子さんから中古衣類二包。

同十八日　芝辻町得田達雄さんから中古衣類三包。

同十九日　大宮町奈良ヨットクラブから和楽園と長曽根寮へみかん十五箱。

同二十日　南袋町林純子さんから六千五百円。▽西大寺新町福若昭子さんから中古衣類二箱。

同二十一日　ボーイスカウト奈良第十八団からあやめ池小学校「ことばの教室」へ十二万千六百六十四円。▽京終地方東側町黒田たか子さんから三百十円。

同二十二日　西宮市田中竜平さんから二千円。▽西大寺木町井村商店から菓子三十五袋を「みどりの家」へ。▽西登美ケ丘匿名氏からベビー衣類一包とベビーラック一台と中古衣類二包。

同二十四日　山陵町阪本富美代さんから亡母供養のため五万円と中古衣類一包。▽六条町上田実さんから千四百円。

同二十五日　南半田東町刀根宗次さんから亡息供養のために交通遺児へ五十万円。

同二十七日　南京終町辻本俊朗さんから至徳会へ千円。

同二十八日　西大寺北地区連合子ども会と西大寺伏見地区子ども会育成会から合成のり八ダースとビニール袋千枚、ティッシュペーパー三十六箱。

同二十九日　右京町平川誠一さんから中古衣類一袋。▽登美ケ丘町藤山カヨさんから愛の定期便六千円。▽近鉄奈良駅前行基噴水喜捨分一万五十七円。

十二月一日　北風呂町平田洋服店から紳士コートと背広三十五点。▽南永井町前田一郎さんから中古カラーテレビ一台を「老春の家」へ。▽西の京町の竜村良一さんから「老春の家」へ、おうす茶わん五個。

同二日　中町富田昭二さんから千円。

同四日　伏見地区万年青年クラブみのり会から四千六十一円とぞうきん二百枚、はたき三十本。

同五日　二名町赤松の松村勝さんから亡母供養のため五万円。

同六日　今在家町池田稔さんから二千円。▽佐保万年青年クラブ第二十部会有志三十五人から一万五千円。▽山陵町匿名氏から一万二千円。▽東向南町日本聖公会奈良基督教会と親愛幼稚園からバザー収益金十五万円。▽奈良市清掃事務所職員一同から「みどりの家」と「登美学園」へそれぞれ四万円。

同七日　綿町安本イソさんから和楽園へ四千百六十一円。▽大安寺恋の窪町山村孝さんから千羽づる一連。

同八日　六条町上田義治さんから白米一俵。

同九日　芝辻町蔵口信子さんから中古衣類一包。

同十一日　都跡局消印の愛の匿名定期便五千円。▽押熊町海田知恵子さんから中古衣類二包。

同十二日　佐保万年青年クラブ第四部会から一万九千六百三十円。▽西大寺小坊町河野由紀雄さんから和楽園へ二万円。▽奈良市農業協同組合婦人部から二十一万四千九百七十五円（うち五万円を「たんぽぽの会」へ）。

同十三日　法蓮佐保町佐藤華洲さんから十万円。▽佐紀中町愛宕講から善意の小箱義金三千三百五十五円。▽あやめ池南のほほえみ会から五万円。▽登美ケ丘の福寿会から老人福祉のために一万二千四百六十円。

同十四日　南京終町中森金治さんから五千五百円。▽川上西町鍵田富子さんから五千四百五円。

同十五日　大宮町池口智子さんから二千五百一円。▽右京町浜田登久子さんからタオル三十本。

同十六日　西登美ケ丘町光嶋良一さんから一万円。▽東紀寺町坂口明さんから二千四百七十円。

同十八日　平松町奈良友の会から「成美学寮」へ二十万円。▽西木辻町の三宅巌さんと河合隆公さんから交通遺児のために二万円。▽ボーイスカウト奈良第十五団から四万千五十九円。▽大宮地区民生児童委員協議会から善意の小箱義金一万円。▽西大寺国見町つくしんぼグループから一万二千八百四円。▽学園大和町中塚たか子さんから中古衣類一箱。

子宮ガン・乳ガン検診

子宮ガン検診＝毎週火曜・水曜日午後一時。検診料四百円。定員一回二十人。

乳ガン検診＝毎月第二・第四月曜日午後一時。検診料三百円。定員一回三十五人。

対象＝三十歳以上。

受診申込み＝往復はがきに受診科目・住所・氏名・年齢・電話番号を書いて市内西木辻八軒町、奈良保健所へ。

奈良保健所で

語る　鍵田市長　新成人と語る

ことし奈良市で成人を迎える若者は男子七百四十五人、女二千四百二十二人の合計四千百六十七人。希望に満ちて大人の仲間入りする若者たちは、成人式に臨んでなにを覚悟し、市政になにを求めているのか。ことしも成人式が終ったあと、新成人の代表七人に集まってもらい、鍵田市長を囲んで覚悟をひれきし、希望を述べてもらいました。場所は市中央体育館、司会は北尾義夫広報公聴課長。つぎはその抄録です。

成人の誓いを立てて！
決意も新たに自立しよう

司会　成人おめでとうございます。きょうは、新成人の代表の皆さんに鍵田市長と大いに語っていただきたいと思います。まず、話のきっかけをつくる意味で市長からなにか一言……。

鍵田忠三郎市長　きょうは、今年中に二十歳になる人が成人式を迎えた。大事なのは今までは育てられていたんだけど、これからは大人になって人を育てる、社会のために尽くす立場に立ったんです。

昔だったら元服の式になるわけです。元服というのは、十五歳でやったところもあり、十三歳ぐらいでやったところもあっていろいろです。いまは、それを国家・社会がやってくれるんです。そういう意味で、きょうは皆さんの人生の中で、大きな節になる日でもあり、きょうを転機にしっかりやってもらわにゃいかんという訳です。

私らの時はね、成人式はありませんで、徴兵検査というものがありました。ぼくが二十歳の時は、学生だったもんで徴兵猶予ということで、東京で下宿住まいをしておりましたが、その時決心したことをはっきりと覚えております。

それは「一切人に頼るまいぞ、頼られることはあっても頼るまいぞ」ということです。これをはっきり決心し、自分に言い聞かせました。それでぼくは大変トクをしています。ぼくは今でも人に頼りません。絶対に頼りません。

諸君もきょうを機会に、自立心を持ってもらえればありがたいと思います。そのために、われわれもこのような行事をやっているんで。

それから、社会のために責任を持つことになったら、まず皆さんが住んでいるこの奈良のまちのことを勉強してもらいたいと思います。今までは子供として、なにも社会に責任を持つこといらんかったから、知らんでよかったけれど、これからは投票もせにゃならんのだから、政治とはなにかということも知らにゃなりません。奈良市のこと、県のこと、国家のことを勉強せにゃなりません。世界の情勢も知らにゃならん。広い意味での社会的な勉強を、これからやってもらわにゃいかん。

諸君はきょうを機に、決心を新たにして、立志して立派な人になってもらいたい。立志とは「大人の志を持つ」ということです。自分のことは自分でして、人のこともお世話していくという立場に立ってもらいたいと、私は念願し、諸君に期待しています。

自動車整備士）▶森本　徹（北京終町＝予備校生）
＝保母）▶堀田まゆみ（帝塚山南２丁目＝学生）
＝正面こちら向きは鍵田市長＝

責任をもてる人間に
協調性ある独立堅持

司会　皆さんも二十歳になって、いろいろと考えられ決意を新たにされていることがあると思いますので、そのことについて一人ずつお話しいただきたいと思います。

北川康行君　ぼくは学生で経済的には家族にたよっているといわざるをえませんが、成人式を迎えて精神的な面では一段も二段も大人にならなければならないなあと思ったわけです。そのためには、どういうことを心に誓ったかといいますと、行動にしろ言葉にしても、自分自身に責任が持てるようになりたいということです。それで、独立するといっても、決して孤立するのじゃなく、社会との協調性というものを忘れないで、なおかつその中で自分を独立させた一個の責任を持った人間に仕上げたいと思っています。

北川康行君

橋本勝君　これからは選挙権も与えられて、大人の仲間入りをするわけですが、責任も全部自分でとっていかなければならないわけです。それでぼくが二十歳になって考えたことは、責任ある行動をとるということです。

ぼくはいま、奈良交通でバスの整備をしていますが、自分のした仕事にミスがあると、それが原因で故障し、事故を起こし、死傷者を出すということもありますので、仕事の面でも責任ある行動をとるということが大事であると考えています。

信頼感とほほえみ忘れずに

堀田まゆみさん　私は歯科衛生士専門学校に通っておりまして、二十歳になったと同社会人になること、プロになることがとても恐ろしい気がするんです。でも一方、自分にまかされた責任があるということをうれしく思います。

堀田　まゆみさん

私の仕事は、人の身体を対象にするということで、とても大切ですし、自分がこの仕事を選んだことに誇りを持っています。

二十歳になって考えたことは、自分が仕事をする時に信頼感というものが大切だということに気がついたんです。患者さんとの信頼関係がなければ医療は成り立ちませんし、ドクターとの信頼関係がなければ治療ができません。だから、まわりの人から信頼される人になりたいと思います。

堀内文代さん　人の良いところを素直にほめられるような人、自分の悪いところだけじゃなく、人の悪いところを良い方向へ導けるような人間になりたいと思っています。そして、だれに接するにもほほえみを忘れず、一言々々にやさしさをこめて話せるような人間になりたいと考えております。また、自分のことだけを考えず、まわりに気をくばり明るく生きていけるような人間になるよう心がけたいと思っております。

堀内文代さん

そのことによって一社会人として、人を助け、社会のために尽くすことが、今までにお世話になった方々の恩にむくいる道であると思っています。

森本徹君　ぼくは昨年十一月に父を亡くしまして、明日がその四十九日ということなんですが、きょうこうして成人式を迎えて、父がいないだけにより一層自分が責任を持って、家族のため社会のためにいろいろしなければいかんなあと思っています。そして一つでも年上の人は先輩として、先輩の意見を今まで以上にとり入れたいと思っています。

二十歳になるということは、先ほどもいわれたように選挙権もあるということで、二十歳でも一票、六十歳、七十歳の方々も一票と、同じ権利がぼくらにも与えられるわけです。そういう意味では、ぼくらの意見も大先輩の人たちに聞いてほしいと思います。それと、自分というものを生かして、個性を発揮できる人になりたいと思っています。

山田真奈美さん　きょう成人式を迎えるにあたって、これまでは親にすごく甘えていた私ですけど、これからは責任をもっていろいろな行動をしたいと思っています。

それから、私はことしから就職なので、いままでと違った立場でがんばりたいと思っているわけですが、常に自分にきびしく生きていくということを目標に自分を確立していきたいと思っています。

山田真奈美さん

小巻三鶴さん　私はまだ学生で、社会に片足をつっこんだ状態というか、まだ完全に社会人になり切っていないわけです。それで、今までは自分が教育を受ける側でしたが、これからは自分の教育は自分ですべきだということを考えています。

人間というのは、だれでも自分はこういう人間になりたいという理想像を持っていると思うんですよ。私は柔軟性というか、多様性のあるというか、そういう人間になりたいと思っています。

柔軟性というのは、個性がはっきりしないということじゃなくて、どんな環境にあっても、どんな人と話していても、自分というものがしっかりしていて、個性を発揮しながらも人の意見を受け入れることができるという意味での柔軟性です。こういうことを心において自分の教育を考えていきたいと思っています。

歴史博物館として復元する
平城宮

司会　どうもありがとうございました。つぎに奈良市のまちづくりについて、なにかありましたらお願いします。

北川君　ぼくは高校時代、学園前から新大宮まで電車で通っていたんですが、西大寺と新大宮の間の平城宮跡が荒れ野原のような状態にされているのを見て、なにかさみしい感じをしていました。

先日、市役所の一階で平城京の復元模型を見せてもらって、こんな素晴らしいまちが、あそこを中心にあったということを改めて感じました。

市長　平城宮が復元できたらいいよね。歴史の繰り返しによって復元できると思います。奈良は昔の平城京時代と人口が同じになった。同じ場所に同じだけの人間が住むと、同じことをやるんですね。例えば、昔の市役所の位置に今の市役所が建った。道路でも、三条通りは昔の道路なんです。大宮通り線は昔の二条小路なんです。だから、ぼくは朱雀門や朱雀大路をつくろうとやっているんです。それがもう計画ができ、近々に平城宮を復元しますよ。歴史博物館としてね。

日本一歯の健康なまちづくりへ

堀田さん　福祉とかいろいろの面で奈良が全国一だというを持ったわけです。奈良を見直すという意味で、少しずつでもあの平城宮が復元されていったらいいなあと思っています。

堀田さん　福祉とかいろいろの面で奈良が全国一だというムシ歯の少ないまちにしていただきたいと思うんです。

歯医者さんが福祉に協力してくれる態勢は日本一です。重度の心身障害者の歯の治療の一番すんでいるのが奈良市なんです。それはね、歯医者さんが奉仕してくれるからなんです。たいへん献身的で奉仕の精神が旺盛な人が多く思います。でも実際にそのことを考えている人というのはとても少ないんですよね。個個の先生とか衛生士さんとかが努力していらっしゃることはわかりますが、こういうことは大きな力としてやるべきだと思うんです。集団としてやっていただきたいと思うんです。

市長　歯が日本一健康なまちをつくるということは大賛成です。現在もそういう考え方で進めています。

新成人の覚悟

出席の方々（順不同）　橋本　勝（南京終町1丁目＝自動
▷北川康行（西登美ヶ丘3丁目＝学生）▷山田真奈美（横井町1丁目＝
▷堀内文代（窪之庄町＝銀行員）▷小巻三鶴（秋篠早月町＝学生）

まして、二十歳になったと同時に今年から働くことになります。二十歳の区切りとして

いうことを改めて感じました。こういうまちが、実際に復元できたらなあという感じ

ろの面で奈良が全国一だというものがたくさんあると思いますが、私は奈良市を全国一

ただきたいと思うんです。歯というのは自分の財産ですから、自分で守るべきだと

奉仕の精神が旺盛な人が多て、自ら進んで休日応急診療もやってくれてます。そして夜間診療まで進めてくれています。歯科医師会が自発的にね。ほんとにぼくは感謝しています。だからその奉仕をしてくれる会館をつくろうと考えています。

堀田さん　その中には予防ということも入るんですか。フッ素塗布は県下では奈良市だけしかやっていないそうですが……。

市長　そうです。もちろん予防も含めてやっていただきます。ブラッシング指導、栄養相談ということも含めてそこでやります。そういうことであなたのいうようなまちづくりをやりましょう。あなたも協力してください。

早起きして覚悟を確め 夜には日記をつけよう

市長　みんなしっかりしてますね。ぼくは二十歳のころは、お寺へ座禅に通ったり、剣道道場へ通ったりして修行していたもんだから、ある程度覚悟というものを持ちえたけれど、普通にやっていたらそんなもん持ちえなかったな。皆さんがこのような覚悟を持ってくれたということは、やっぱり成人式というものは意義があるもんですね。諸君がきょう決心を新たにされたこと、これを持続して一生しっかりとやっていかれたら、そこに立派な人生が展開すると思います。ほんとに結構なことです。

昔の人は覚悟を決めることを誓願といって、願を立てたんですね。神仏に誓うわけです。神に願をかけたら命をかけて実行いたします。例えば言動に責任を持つということを誓願したら、命がけで遂行しますと神仏に誓うわけです。そういうことを昔の人はやったんです。そして毎朝拝むんです。毎朝祈りの中で誓願をあらためて毎日の仕事をやっていく。こういったことをやったもんです。

諸君も、きょう折角よい誓願を立てられたんですから、神仏は認める認めないとの問題があるので、自分自身に対して強く誓い、毎朝それを確認してやられると良いと思います。そのためにはやっぱり朝早く起きてね、朝の時間に余裕を持つ。余裕を持つと自分の決心したことを確めることができる。それから日記を書くことをすすめます。夜、寝る前に日記を書くことによって確めることができる。

ぼくは年中毎朝五時に起きています。五時より早い時もあります。日記もずうっと書いています。

諸君もきょうを機会に、朝ちょっと早く起きて、朝の時間の余裕を持って自分の心と対決して、心に言うてきかす。そうされたら良いと思います。

旧市街地の再開発

これからどんどん進捗

森本　徹君

森本君　ぼくは旧市に住んでおりますので、旧市の再開発ということで市長さんにお願いしたいんですけど……。

市の西郊方面は人口もどんどん増え、新しい家も立ち並び、それにつれて公的施設もふえているように思うんです。西部の方でもまだ足らないのかも知れませんが、ぼくはもう一度旧市内の方を見直していただきたいと思うんです。奈良市は旧市から発展してきたまちですから、そこがさびれていくのはさびしい感じがするんです。再開発して若々しいまちにしてほしいと思います。

市長　旧市街の再開発はいま進めています。それはやっぱり道路をつくり直さなくちゃならないんです。現在は自動車の時代になっとるでしょう。いまや買物なんかも自動車で行く時代になっとるんですね。昔は人が歩くまちだったんですがね。そういう時代なので、道路を広げることをやっています。

例えば、杉ヶ町―高畑線も五年間の突貫工事でやっています。五年間でやりとげますから、あれが出来上がったら旧市街の半分は良くなります。

それから下水道は旧市街地はかなり整備された状態になっとりますけど、今年中に完備させたいと思っております。

国鉄奈良駅西口付近も全部整備します。立体交差にしてね。近鉄付近も地下乗り入れしたから開けたでしょう。新大宮付近も整備できたし、こんどは国鉄西口付近や三条通りを整備します。どんどんやっとります。もうじき形に現れてくると思います。

〝共働き〟に保育所

寝たきり老人に移動プロを

橋本君　ぼくは奈良へ来てまだ一年もたちませんが、奈良へ来て感じたことは、奈良の福祉が進んでいるということです。ぼくの田舎の家の隣りに寝たきり老人がいたんですが、世話をする人がたいへんなんですね。どこにも行けず、何もできないし、フロに入れようとしても重くて入れてあげられないしね。

橋本　勝君

動くフロというようなものがあるらしいんですが、奈良市でも購入して寝たきり老人たちをおフロに入れてあげればいいと思います。それと、ぼくも将来結婚するでしょうが、恐らく共働きになると思うんです。子どもが出来ても安心して共働きできるよう保育所をいたる所に建ててほしいですね。

市長　福祉については、奈良は国のやり方よりも三年ぐらい進んでいるでしょうね。全国一という人もいますが、私からいえばまだまだ足りないところが多いのです。でも、まあ他の都市と比べると充実していると思います。

寝たきり老人の移動プロね。考えましょう。寝たきり老人には寝具を持っていって取り替えたり、ホームヘルパーをつけて一切の世話をしています。正月のおせち料理まで持っていっています。もちろんミソは一年分持っていっていますけどね。移動プロのことは実情を調べて考えてみましょう。

保育所はまだまだ充実すべきだと思っています。現在市立が十四園、私立が十一園ありまして、他市に比べるとうんと率はいいんですけど、まだ奈良市としては足りないと思います。待機児童がまだいますから、待機児童をなくすようにしたいと思います。

きれいな公衆便所整備

堀内さん　市の方では「蚊・ハエの一匹もいないまちづくり」に努力していただいていますが、市民ひとりひとりが心がけて自分の家の付近をきれいにしたらいいんですけど、川や池にゴミをほかしたりして、すごくよごれているところがあります。それと市の方からの家庭ゴミ回収の際、袋がやぶれて道路にゴミが散乱している場合もあり、そういう所から蚊・ハエが発生するのではないかと思っております。それで、市民にゴミを出す前によく整備して、袋が破れないように呼びかけていただきたいと思います。

それと、五十九年に国体が開かれるそうですけど、奈良公園とその付近にお手洗いが少ないように感じます。だれでもいつでも使えるきれいなお手洗いをなるべく多く造っていただければ結構かと思います。

市長　その通りです。奈良市では、毎日市民一人あたり一・二㌔出るゴミを全部処理しとるんです。普通の都市だったら家庭ゴミを処理するだけで精いっぱいなんですが、奈良市ではそれじゃいかん、より美しくせにゃいかんといって、清美機動班というものをつくって、自動車で市内を走り回ってきたないところを掃いたり、不法投棄を処理しとるんです。なおそれを一歩すすめて、蚊・ハエだけじゃない、ゴミひとつないまちづくりを理想にかかげてやっているわけです。ところが、あなたの指摘するように、市民みんなの協力がないとできないわけです。徹底して奈良のまちを美しくする努力しているんですので、どうぞ皆さんも協力してくれるようお願いしますよ。

それから公衆便所ですね。外国なんかでは有料のきれいな公衆便所があります。有料でもいい、きれいなのをつくりましょう。公園は県の管理なんですが、やりましょう。

奈良の国際性高揚へ

施設整備と青少年海外研修を

小巻さん　私、英語を勉強しておるんですけど、外国の文化とか生活習慣を知るにつれて、かえって日本の良さを感じているんです。奈良はもともと日本文化の発祥の地ですので、ほんとの意味での国際都市になりうるまちだと思うんですね。それでね、外国人のお客さんが来られたら、宿泊できるような日本的ホテルとか、そういった施設がほしいと思います。それから、中国の青年たちとお友だちになるというか、日本の良いところを知ってもらうために、奈良へ来ていただいて話し合える機会があればなあと思っています。平城京の一角に小さくてもいいから「友好の家」のようなものができたら楽しいなあと思うんです。

小巻三鶴さん

市長　奈良は国際都市としての歴史を持っているので、歴史のくり返しにより、国際的にいろいろ関係が深いんで、友好交流を多彩にやっています。あなたのいうホテルは、たしかに造らんといかん。ことしからやりますよ。日本的な国際ホテルを造ります。三百室以上のホテルをね。県と市と近鉄と地元とが出資しましてね。もう知事とも話ができております。

「友好の家」なんかも考えております。中国の人たち、留学生なんかも来ますからね。考えております。

山田さん　去年でしたか、県の主催による「希望の翼」で若い人が大勢中国へ海外研修に行かれました。それに参加した人の話を聞いたんですが、西安ではひじょうに歓迎されて感激したということでした。

奈良市でも、若者というか、青年が海外で研修するという企画を立てていただくようお願いしたいんですが…。

市長　県のはぼくが世話したんです。だから西安が歓迎してくれたんです。奈良市が申し入れんと中国が受け入れないんですよ。奈良市と西安市は友好都市ですからね。青年の翼や、青年の船や、そんなものを考えましょう。

ことしは、奈良市は代表団と参観団各一団を中国へ派遣します。その参観団に青年たちがたくさん参加するようにしましょう。いままでにも、農業青年や青年会議所の諸君にも行ってもらったんですよ。そういうことで、これからもどんどん参加してもらうようにしましょう。

司会　どうもありがとうございました。時間がきましたので、これで終わらせていただきます。

市民のこえをきく

市政についての世論調査

自然環境がバツグン！「住みよい」との答え安定化

奈良市は「開拓精神をもって正しい人の道を盛んにする新平城京のまちづくり」を昭和五十三年の基本方針と定め、市政を推しすすめてきました。この基本方針に沿って諸施策は「すべて市民本位に」を基本姿勢としつねに〝市民の声〟を反映するよう心がけ、昭和四十二年から市政懇談会を地域ごとに開くほか、市民相談室を常設するなど、あらゆる機会と場を設けて公聴活動を行なっています。毎年実施する「市政についての世論調査」は公聴活動の最も有力な柱となるもので、調査に示された〝市民の声〟は市政推進の重要な資料として役立っています。

世論調査は、最も科学的な方法によるサンプル調査で、ランダムに選ばれた少数のサンプルを調べることによって、市民全体の意識を知ることができるとされています。昭和五十三年度の調査は、中国のハリ・キュウの導入、蚊・ハエの一匹もいないまちづくり、予防消防、平城京復元模型などについて市民のみなさんの意識、反応を調べたもので、全調査九項目、二十四問にわたっています。調査の結果の大要はつぎのようになっています。

生活環境

生活環境の評価　奈良市が進めている「日本一住みよいまちづくり」に対応して、奈良市に住む市民たちは、その「住みごこち」をどのように評価しているかを調べてみました。

その結果、奈良市に「住んでよかったと思う」と答えた人は、全体の71・3%。これに対し「よかったと思わない」と答えた人は2・8%となっています。これを過去四十八年からの調査結果と比較すると、五十一年までは年ごとに「よかったと思う」がふえて75・5%にまで伸びましたが、五十二年73・4%、今回71・3%と微減傾向に転じたようです。ところが反面五十二年6・5%あった「よかったと思わない」が減り、今回は2・8%となっています。

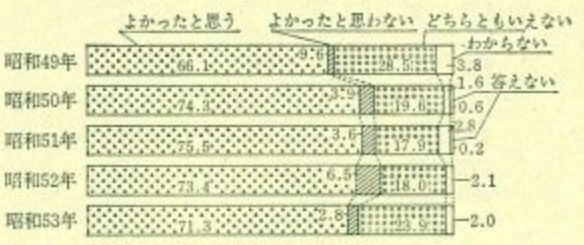
「よかった」と答えた人の男女別では男性（68・8%）より女性（73・8%）の方に評価がよく、また男性では二十代43・6%～六十歳以上86・7%と年齢差による評価の開きが大きいのに対し、女性は69・8%～73・2%と非常に安定しています。

居住年数別では、いつもの通り長く住んでいる人ほど「住みごこちがよい」と答え、二十六年以上の居住者で79・7%あるのに対し、三年未満の居住者は40・2%と低率であった。

住みよい理由　「住みごこちのよい」理由の筆頭は、いつもの通り「自然環境がよい」75・4%であり、ついで「公害が少ない」48・5%、「古社寺・史跡・名勝が多い」44・8%となっており、このパターンは例年の調査と余り変わらないようです。

地域別に見ても、住みよい理由のトップはいずれも「自然環境がよい」で共通しており、東部地域でこれと全く同じ比率で「公害が少ない」「古社寺・史跡・名勝が多い」を挙げているのが特徴的で、西部地域の「交通が便利」というのも目立っています。

「住みごこち」の年度別推移



これと逆に「住みよいとは思わない」とする人（2・8%）の理由は「物価が高い」「買い物に不便」が主な点で「自然環境がよくない」とする人が一人もいなかったのが特徴的といえましょう。（八面のグラフ参照）

6割近くが知っている

難病対策として施療歓迎

ハリ・キュウ技術導入の周知度　奈良市では、独自の福祉施策として、筋ジストロフィー、小児マヒなどに対する難病対策を打ち出し、昨春三人の医師を中国に派遣して中国のハリ・キュウ医術の導入に努めた結果、昨年十月法蓮町の身体障害者福祉センター「みどりの家」に診療所を開設、診療に入りました。この調査は、診療所開設前の段階で、市民がこのことをどの程度知っているか、この施策をどう受け取っているかを調べました。

「中国のハリ・キュウを技術導入し、みどりの家で十月から治療を実施することをご存知ですか」の問いに対し、「知っている」と答えた人は58・9%と六割近くありました。男性の51・1%、女性の66・7%が知っており、この段階での関心が意外に高いことを示しています。

男性六十歳以上の78・3%の最高は格別として、男性の二十～三十代を除く各年代と女性の各年代層はいずれも50%以上の周知度を見せており、地域的にもすべて55・7%以上の人が関心を寄せていることがわかりました。

ハリ・キュウ治療をどう思うか　そこで、市が始めようとしている難病患者へのハリ・キュウ治療に対し、市民はどう考えるかを調べてみました。その答えは「難病対策としてよいことだ」21・2%、「難病以外の患者にも施療すべきだ」26・4%と歓迎する声が返ってきたが、さらにそれ以上に「難病対策としてハリ・キュウに限らず広くリハビリテーションの施策をすべきだ」という要望が34・0%も占めました。

前二者の歓迎の声は男性の六十歳以上、女性の五十歳以上と高齢層に大きかったのに対し「広くリハビリテーションの施策を」との要望の声は男性では三十代（42・9%）女性では二十代（49・1%）と若い層に最も強かったのが特徴的です。

質問とその答え

生活環境

◇あなたは奈良市にお住みになって何年になりますか。

1.	3年未満	14.3%
2.	3年～7年	21.2
3.	8年～15年	22.8
4.	16年～25年	10.9
5.	26年以上	30.5
6.	わからない	0.3
	計	100.0

◇あなたは奈良市に住んで「よかった」とお思いですか。

1.	よかったと思う	71.3%
2.	よかったと思わない	2.8
3.	どちらともいえない	23.9
4.	わからない	2.0
	計	100.0

◇（前問で「よかったと思う」と答えた人に）どういうことから、そうお思いになりますか。（3つ選択）

1.	自然環境がよい	75.4%	(28.2%)
2.	公害が少ない	48.5	(18.1)
3.	災害が少ない	38.0	(14.2)
4.	古社寺・史跡・名勝が多い	44.8	(16.8)
5.	交通が便利	17.8	(6.7)
6.	教育環境がよい	9.1	(3.4)
7.	人情がよい	2.4	(0.9)
8.	物価が安い	0.2	(0.1)
9.	買物に便利	2.6	(1.0)
10.	住みなれたから	26.7	(10.0)
11.	その他	0.9	(0.3)
12.	こたえない	0.7	(0.2)
	計	267.2	(100.0)

◇（第2問で「よかったと思わない」と答えた人に）どういうことから、そうお思いになりますか。（3つ選択）

1.	自然環境がよくない	0%	(0%)
2.	公害が多い	5.6	(2.3)
3.	災害が多い	0	(0)
4.	古社寺・史跡・名勝がありすぎる	0	(0)
5.	交通が不便	27.8	(11.4)
6.	教育環境が悪い	11.1	(4.5)
7.	人間関係がよくない	44.4	(18.2)
8.	物価が高い	72.2	(29.5)
9.	買物に不便	50.0	(20.5)
10.	いろいろ法律上の制約（古都保存法・風致地区など）が多すぎる	16.7	(6.8)
11.	その他	16.7	(6.8)
	計	244.4	(100.0)

休日・夜間応急診療

◇あなたは、市が市役所の隣りに休日・夜間応急診療所を開設し、市医師会・市歯科医師会の協力をえて、休日・夜間の診療を行なっているのをご存知ですか。

1.	知っている	77.4%
2.	知らない	22.6
	計	100.0

◇（前問で知っていると答えた方に）あなた（ご家族を含め）は、今まで休日・夜間応急診療を利用されたことがありますか。

1.	ある	28.9%
2.	ない	71.1
	計	100.0

ハリ・キュウの導入

◇あなたは、中国のハリ・キュウを難病対策として技術導入し、市立身体障害者福祉センター「みどりの家」で10月から治療を実施することをご存知ですか。

1.	知っている	58.9%
2.	知らない	41.1
	計	100.0

◇市では、ハリ・キュウを研修した三医師により、難病患者の治療を中心に進める予定ですが、あなたはこれについてどのようにお考えですか。

1.	難病対策としてよいことだ	21.2%
2.	治療は、難病者以外の患者にもするようにすべきだ。	26.4
3.	難病対策として、ハリ・キュウに限らずもっと広くリハビリテーションの施策をすべきだ。	34.0
4.	治療が始まっていないからなんともいえない	16.1
5.	こたえない	2.3
	計	100.0

予防消防

◇市民の皆さんのご協力により奈良市は、昭和45年から9年連続して「日本一火事の少ないまち」を達成しました。さらに火事のない平和なまちづくりを推進するための一つとして、15世帯に1本の割で設置していました消火器を、本年度から10世帯に1本の割で増備いたしておりますが、あなたはこのことをご存知ですか。

1.	知っている	47.4%
2.	知らない	52.6
	計	100.0

◇（前問で「知っている」と答えた方に）では、あなたの町内ではどこにこの消火器が設置されているかご存知ですか。

1.	知っている	83.0%
2.	知らない	17.0
	計	100.0

◇市では各種の火災予防対策を実施していますが、今後より一層火事の少ないまちにするには下の項目のうち、どれにより力を入れるべきだと思われますか。（3つ選択）

1.	広域消防として各市との協力体制の強化	33.6%	(12.1%)
2.	自治会への消火器の増備	35.3	(12.8)
3.	全世帯への防火診断・電話パトロールの強化	42.8	(15.4)
4.	空家の持主への防火指導	18.1	(6.5)
5.	車両の火災予防指導	2.6	(1.0)
6.	ガソリンスタンドや危険物取扱所への防火指導	20.8	(7.5)
7.	消防団活動の活発化	22.5	(8.1)
8.	防火水槽の増設	19.1	(6.9)
9.	40m級のはしご車の増備	8.7	(3.1)
10.	家庭向けに防火パンフレット配布	24.0	(8.7)
11.	人の集まる百貨店、スーパーや公共施設の防火施設の点検並びに指導	48.5	(17.5)
12.	こたえない	0.9	(0.3)
	計	276.9	(100.0)

全国出張展示 賛成66・8%

市民の半数が「見ている」

平城京復元模型

復元模型への関心度　昭和五十二年二月、市庁舎の完成と同時にその一階市民ホールに平城京の復元模型を展示しましたが、これを市民はどの程度見ているかを調べてみました。「見た」と答えた人は52・7%、「見ない」は47・3%で、市民の半数以上が見ており、前年調査時の「見た」（39・6%）の一・三倍になり、われわれの祖先が築いた偉大な平城京の面影に、いかに奈良市民が関心をもっているかを示しています。

男女別では男性の54・8%が見ているのに対し女性は50・6%と低く、男性の六十歳以上の66・7%に対し女性二十代は35・8%と低く、関心は男性の高齢者に高く、若い女性に低いとの傾向を示しています。地域的には南部・中部が七割以上のものが見ており、北部・西部が四割台というのは、市庁舎の位置にも関係があると思われます。

復元模型は市民の熱心な希望もあって昨年六月から日曜・祝日も見学に供していますが、このことを「知っている」と答えた人は全体の20・2%で比較的低く、それも高年齢層ほどよく知っている傾向にあります。

復元模型の出張展示　この復元模型は、平城京の雄大な都市計画を国内の多くの人に知ってもらうとともに、奈良への観光客誘致の呼び水とするため、東京をはじめ札幌・名古屋へ出張展示しましたが、このうち東京展示について市民の関心度を調べてみました。「知っている」は51・3%と半数以上の人が知っており、「知らない」は48・7%。女性より男性の方が、また年齢が高くなるにつれてよく知っているようです。

そこで、平城京復元模型をこのように全国各地に持ち出して展示することについて、市民はどのように考えるかを聞いてみました。これに対して最も多かったのは「全国の人達に平城京の偉大さを知ってもらうことができ、今後とも市外で出張展示すべきだ」との積極的意見で、約半数の50・7%を占めました。これに次いで「観光客誘致にもなりよいことだ」というのが16・1%あり、前者と合わせて66・8%が出張展示に賛成していました。これに対し「たびたびは困る」との消極派が5・6%、「見たければ奈良へ来てもらうべきだ」の反対派が11・8%でした。女性より男性に賛成の声が強く、とくに男性の四十代は80・0%が賛成で、最低の女性六十歳以上でも51・8%が賛成となっています。

家庭婦人の関心度高い

利用者もふえる

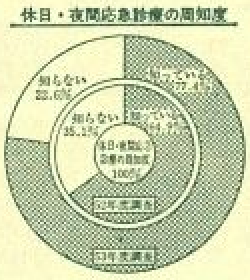
休日・夜間の応急診療

休日・夜間応急診療の周知度　奈良市の休日・夜間応急診療所は市庁舎新築後、その隣りに一本化して新設、去る五十二年五月から市医師会の協力を得て休日・夜間応急診療を、また市歯科医師会の協力を得て休日応急診療を行なっています。市民がこれをどの程度知っているかを調べてみました。

「知っている」と答えた人は77・4%で、前年調査（64・9%）よりかなり伸びています。男性（72・9%）より女性（81・8%）の方がよく知っており、また男性が年齢が高くなるほど高率（二十代41・8%〜六十歳以上83・3%）となっているのに対し、女性は三十代が一ばん高く90・7%を占め、ついで五十代82・2%、あと各年代とも70%台となっています。これは家庭での健康管理をあずかる主婦の関心度の動きをあらわしたものといえましょう。

地域的には東部の95・0%をトップに各地域とも前年よりもよく知られ、最低の西部地域でも70・6%となっていました。

休日・夜間応急診療の周知度



休日・夜間応急診療所の利用経験　休日・夜間応急診療所を「知っている」と答えた四百九十九人について、家族を含めてこの応急診療所を利用した経験の有無を聞いてみました。これらの人のうち利用したことがあると答えたのは28・9%で、これは全体の22・3%にあたり、前年（17・8%）よりかなり多くなっていることがわかりました。

利用実数の一ばん多いのは西部で、そのあと旧市内、中部とつづき最も少なかったのは東部となっています。

ゴミ箱の管理・家庭

行政・駆除薬剤対策

市民運動徹底化へ協力

蚊・ハエの一匹もいないまちづくり

市民運動の周知度　市では、市民運動の一つとして「蚊・ハエの一匹もいないまちづくり」運動を進めています。これを市民はどの程度知っているかを調べてみました。

「知っている」と答えたのは全体で63・4%で、このうち男性は53・6%、二十代〜三十代の29・1%〜45・1%と低調なのに対し四十代以上はいずれも64・3%以上を示しました。これに対し女性はさすがに関心が高く全体で73・1%、二十代66・0%、六十歳以上69・6%、四十代69・8%、三十代74・8%、五十代86・7%と世帯意識が強く出ていました。

地域的には東部（90・0%）が一ばん関心が高く、南部、中部、北部、旧市内、西部の順になっており、ある程度地域性をにじませていました。

家庭でどうしているか　ついで、蚊・ハエを駆除するために、各家庭でどのようなことに留意しているかを聞いてみました。

これは極めて具体的な回答で示され「ごみ箱の衛生管理」「便所の掃除・管理」「雑草の刈取り・水たまりの排水」「どぶ・下水の清掃」の順で上位を占めました。

この順位は、性別・年齢別を通じてあまり変わらず、高年齢層には「どぶ・下水道」「雑草・水たまり」が強調されていました。また、地域別・居住年数別を通じて一様にトップで強調されているのは「ごみ箱管理」で、このほか「雑草・水たまり」は東部・南部・西部各地域で、「便所の掃除・管理」と「薬剤の定期散布」は東部地域で強く指摘されています。

行政の重点施策は？　さらにこれを行政レベルで取り上げ、市でつくっている「ゴミ一つない蚊・ハエの一匹もいないまちづくり協議会」の施策として推進するにはどんなことがよいかをたずねてみました。

その答えは「蚊・ハエの異常発生地への薬剤散布」56・7%、「全市一斉薬剤散布」53・5%、「し尿汲み取り世帯への薬剤配布」34・3%など薬剤を中心にした対策が上位を占めました。この三つについては性別・年齢別を通じてまんべんなく挙げられ、とくに地域間にほとんど差が見られません。なお、「家庭向けに蚊・ハエ駆除パンフレットを配布」との希望は男性（35・5%）の方が女性（21・6%）よりはるかに強いのは意外な現象です。

地域の分類

調査結果の分析の必要上、調査は全市域を六つに分類して行ないました。これは地域的特性、住民の職業、生活環境など共通性の濃い意識の分析に役立てるもので、つぎの地区から成っています。地域間のサンプル比重は変わりません。

【旧市内】椿井・飛鳥・鼓阪・済美・佐保（一部）・大宮（一部）

【東部地域】精華・田原・大柳生・柳生・東里・狭川

【南部地域】東市・帯解・明治・辰市

【中部地域】大安寺・都跡（一部）・佐保（一部）・大宮（一部）

【北部地域】平城ニュータウン

【西部地域】伏見・西大寺北・平城・あやめ池・学園北・学園南・登美ケ丘・富雄北・富雄南・富雄第三・鳥見・都跡（一部）・青和・二名

質問とその答え

平城京復元模型

◇あなたは市役所一階展示ホールに展示している平城京復元模型をごらんになったことがありますか。

1. 見た　52.7%
2. 見ない　47.3

計　100.0

◇市ではこの復元模型の見学希望の増加に併い、日曜・祝日にも見学していただくように日曜・祝日の見学の受付けを始めましたが、あなたはこのことをご存知ですか。

1. 知っている　30.2%
2. 知らない　79.8

計　100.0

◇この復元模型が、4月に東京へ進出し、13日の期間中5万5千人の見学者があり好評を博しましたが、あなたはこのことをご存知ですか。

1. 知っている　51.3%
2. 知らない　48.7

計　100.0

◇平城京復元模型が、東京展示のように市外で展示されることについて、あなたはどうお考えになりますか。下の項目から一つだけ選んで○印をつけてください。

1. 全国の人たちに平城京の偉大さを知ってもらうことができるから、今後も市外で展示すべきだ。　50.7%
2. 観光客誘致にもなりよいことだ　16.1
3. よいことだが、市民も見たいからたびたびでは困る。　5.6
4. 見たければ奈良へ来てもらうべきだ　11.8
5. わからない　15.8

計　100.0

蚊・ハエの一匹もいないまちづくり

◇市では、市民運動の一つとして、「蚊・ハエの一匹もいないまちづくり運動」の推進に努めていますが、あなたはこのことをご存知ですか。

1. 知っている　63.4%
2. 知らない　36.6

計　100.0

◇蚊・ハエを駆除することは、日本脳炎や赤痢などの予防に効果がありますが、あなたのご家庭では、どのようなことに注意されていますか。（複数回答）

1. どぶ、下水の清掃　45.9%（17.4%）
2. 水槽の水の入れかえ　10.4（3.9）
3. 雑草の刈取り・水たまりの排水　48.7（18.5）
4. 浄化槽の定期清掃　16.0（6.1）
5. ごみ箱の衛生管理　65.1（24.7）
6. 便所の掃除・管理　49.1（18.6）
7. 薬剤の定期散布　25.7（9.8）
8. こたえない　2.6（1.0）

計　263.6（100.0）

◇市では、この運動を推し進めるため「ゴミ一つない蚊・ハエの一匹もいないまちづくり協議会」を設置して、下の対策を実施しておりますが、どの対策を重点的に進めればよいとお考えですか。（3つ選択）

1. 実践推進地区を設定し、薬剤の配布・器具の貸し出し　23.3%（9.6%）
2. 全市一斉薬剤散布　53.5（22.1）
3. 蚊・ハエの異常発生地への薬剤散布　56.7（23.5）
4. 国・県所有地の清掃・防疫の依頼　18.6（7.7）
5. し尿汲取り世帯への薬剤配布　34.3（14.2）
6. 市施設の清掃・防疫活動　25.9（10.7）
7. 家庭向けに蚊・ハエ駆除パンフレットを配布　28.5（11.8）
8. こたえない　0.9（0.4）

計　241.7（100.0）

市民皆植樹の日

◇市では、植樹百万本運動の一環として、5月の第2日曜日を「市民皆植樹の日」と定め植樹運動を進めていますが、あなたは、このことをご存知ですか。

1. 知っている　60.8%
2. 知らない　39.2

計　100.0

◇また、「市民皆植樹の日」を設定するとともに市民緑化樹の無償交付の希望を募り、今年は春植えと秋植えとで25万本の申込みがあり、春植え分をご家庭で植樹いただきましたが、あなたはこの緑化樹の交付をご存知ですか。

1. 知っている　66.5%
2. 知らない　33.5

計　100.0

◇奈良市は、みどりの面積や運動公園面積が人口1人当たり日本一多いといわれています。将来は、奈良のまちを森の中に埋もれる心豊かなまちにしたいと考えておりますが、あなたはこのことをどうお考えですか。

1. 非常によいことだ　65.4%
2. よいことだ　28.4
3. どちらともいえない　5.1
4. あまりよいことではない　0.5
5. よいことではない　0
6. こたえない　0.6

計　100.0

市民のこえをきく

市政についての世論調査

93・8%が緑化運動を支持

緑化樹無償交付、七割近くが知る

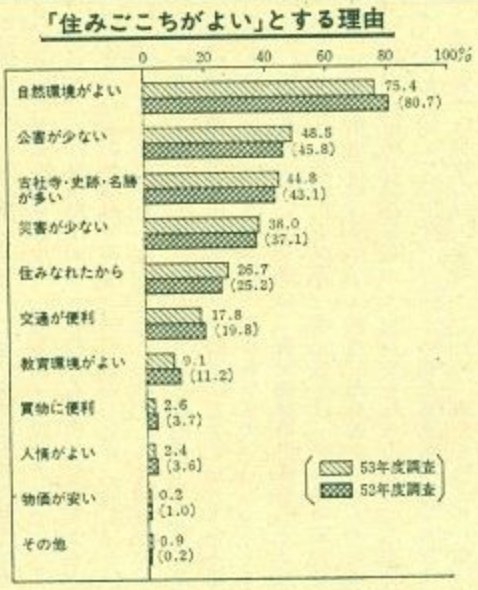
つづき

まちを森の中に埋める緑化運動

市民皆植樹の日　市では十年計画で植樹百万本運動を実施し、緑の中にまちを埋めようと毎年五月の第二日曜日を「市民皆植樹の日」と定めています。市民はこのことをどの程度知っているかを調べました。「知っている」は60・8%で過半数を示し、男性（57・6%）よりも女性（63・9%）が多く知っており、男女とも二十代が最低を示しました。地域的には東部が80・0%と高く、旧市内・北部・西部の各地区が低く50%台でした。

緑化樹の無償交付　植樹百万本運動の一環として市が緑化樹の無償交付をつづけていますが、今回の調べでこのことを知っている人は66・5%で、昭和五十年調査時（41・0%）よりかなりふえていることがわかりました。男性（61・1%）より女性（71・9%）の方が周知度が高く、これは緑化樹交付が相当家庭に浸透していることを物語っています。

緑化運動への評価　まちを将来森の中に埋めるというのが奈良の緑化運動ですが、このような施策を市民はどう受け取っているかを聞いてみました。これに対し「非常によいことだ」と答えた人は65・4%、「よいことだ」と答えた人は28・4%で、この双方を合わせると全市民の93・8%が積極的に歓迎しています。「どちらともいえない」「あまりよいことではない」といった消極論は5・6%で「よいことではない」との反対論は一人もありません。これは、男女別、年齢別、地域別ともさほどのバラつきは見られぬようです。



予防自防

消防への関心　女性の方が高い

あまり知らぬ消火器の常置場所

消火器の町内配備　奈良市は全市民の協力を得て、日本一火事の少ないまちの実現に努め、去る四十五年から十年連続同規模都市では日本一火事の少ないまちの栄誉をになってきました。その基本的な考え方として、市民一人一人が消防士になった構えで予防消防に徹するという建て前で、市では全町内自治会に十世帯に一個の割りで消火器を配備しています。市民がこのことを知っているかどうかを調べました。

その結果「知っている」と答えた人は全体で47・4%で市民の半数を切っていることがわかりました。男性（43・0%）より女性（51・9%）の方がよく知っており、総じて年代に応じて周知度が高いようです。男性二十代で27・3%、三十代34・1%、四十代47・1%、五十代57・8%、六十歳以上55・0%。また女性では二十代37・7%、三十代54・2%、四十・五十代各55・6%、六十歳以上53・6%となっています。

地域別では東部の60・0%に対して旧市内12・4%と落差が大きく、その他北部42・9%、西部43・7%、中部51・1%、南部53・7%とバラつきが見られます。

そこで、「知っている」と答えた三百六人に対し、さらに消火器の配備場所を知っているかどうかをたずねたところ、さすがにその83・0%の人が配備場所を知っていました。これは一見高率に見えますが、これを全市民に引き直すと、「知っている」という人は39・4%に過ぎないということになります。男女別では、男性（81・2%）より女性（84・5%）の方がわずかによく知っており、どちらも二十代が最も低率となっています。

防火への重点実施対策　火事をより一層少なくし、安心して暮せるまちづくりを進めるために、行政面で何を実施すべきか―について十一項目の中から三つを選んでもらいました。

まず第一に望まれるのは「百貨店・スーパー・公共施設の点検と指導」（48・5%）で、以下「全世帯への防火診断、電話パトロールの強化」（42・8%）、「自治会への消火器増備」（35・3%）、「広域消防として各市との協力体制の強化」（33・6%）が上位を占めました。

これらの希望は地域的にある程度の片寄りがあり、とくに東部地域では「消防団活動の活発化」「防火水槽の増設」といったところに重点を置いているのが特徴的です。

留守火事は出さないようにご注意！

市政に望むもの

「社会福祉対策」がトップ

より住みよいまちづくりのため、奈良市民は市政に何を望んでいるか、十五項目を挙げてその中から三つを選んでもらいました。

それによると、最も望まれているのは「社会福祉対策」で38・9%、ついで「医療・衛生対策」34・1%、「上下水道対策」30・9%、「自然保護対策」28・2%、「ゴミ処理対策」26・7%が上位を占めていました。

前年トップであった自然保護対策が後退、四位の社会福祉対策と交代しています。医療衛生対策は二位でそのまま、その他ゴミ処理対策、環境整備対策は順位が入れかわっただけで依然上位を保っています。上下水道対策は前年は「上水道対策」として十四位にあったのが「下水道」が加わったのと昨年の上水道渇水のためか、こんどは三位にのしあがったのが目立っています。

社会福祉対策に対する要望はずっと根強く、四十九年以来の調査では常にトップクラスに位置しており、今回の調査でも性別・年齢別とも平均して主位を占め、地域的には東部、旧市内、南部の順に希望が強いようです。

このほか、地域的に希望の強いものを拾ってみると旧市内＝医療・衛生▽東部＝ゴミ処理、道路整備、医療・衛生▽南部＝医療・衛生、自然保護▽中部＝上下水道、医療・衛生、ゴミ処理▽北部＝医療・衛生、交通安全、自然保護、河川浄化▽西部＝医療・衛生、上下水道、自然保護、ゴミ処理

となっており、スポーツ振興、生涯教育、幼児教育、公害排除などは地域性や個人的な傾向が強くバラつきが見られました。

市の施策

休日・夜間応急診療制度に最高評価

日本一行政　全国に先がけて奈良市では幾つかの〝日本一行政〟を実施していますが、市民はそれらをどう評価しているかについて、十三項目の施策をあげ、その中からよいと思うもの三つを選んでもらいました。その結果、挙げられたベスト5はつぎの通りです。

①休日・夜間応急診療制度　62・8%
②日本一火事の少ない行政　46・4%
③老春手帳、万年青年クラブを中心とする福祉　31・5%
④植樹・植林行政　30・1%
⑤日本一交通事故の少ないまちづくり　21・2%

これとは別に「休日歯科応急診療制度」に対する評価が11・8%あるから、全体としての休日・夜間応急診療に対する市民の支持は74・6%となり飛び抜けて高いものとなります。男女・年齢・性別・地域別を問わずこの診療制度は無条件トップに評価されています。このほか防火対策に対しては旧市内・中部地域で男女高齢者の支持が高くなっています。また福祉施策は高年齢層、植樹・植林は北部地域と居住歴3～7年の層に評価が高い。

前年評判のよかった「みそづくり」行政は、今回はずっと順位が落ちて六位で18・8%、女性には23・8%の評価を得ているが、男性と北部・旧市内・中部の評価が低かったようです。このほか火葬場・土塔（納骨堂）の整備は余り知られず、中央武道場や各中学校の武道場は案外に評価が低かった。

調査方法

調査は全市選挙有権者名簿から、層化二段無作為抽出法によって調査の対象となる人（サンプル）千二百人を選び、その個々に調査票を郵送・回収する方法で行ないました。

調査担当機関は㈱大阪リサーチセンターで、調査時期は五十三年八月十八日～九月九日。

回収された有効調査票は六百四十五で回収率は53・8%でした。

質問とその答え

市の施策

◇市の行政には、全国に先がけ〝日本一行政〟として実施している次のような施策があります。よいと思う施策をあげて下さい。（3つ選択）

1. 火事の少ないこと（奈良市と同規模の都市の中で）　46.4%（16.2%）
2. 火葬場及び土塔（納骨堂）設備　2.0（0.7）
3. 幼稚園の就園率　10.7（3.7）
4. 植樹・植林行政　30.1（10.5）
5. 公民館網の充実と活用　16.1（5.6）
6. 武道場（中央武道場及び各中学校に武道場）3.1（1.1）
7. 福祉（特に老春手帳、万年青年クラブ活動）　31.5（11.0）
8. 交通事故が少ないこと（奈良市と同規模の都市の中で）　21.2（7.4）
9. みそづくり行政　18.8（6.5）
10. 都市公園・運動公園の市民一人当りの面積 14.1（4.9）
11. 休日・夜間応急診療制度　62.8（21.9）
12. 休日歯科応急診療制度　11.8（4.1）
13. 身障者福祉センター「みどりの家」に併設の小学校　16.6（5.8）
14. こたえない　1.7（0.6）

計　286.9（100.0）

◇市では、日本一住みよいまちづくりをめざして「開拓精神をもって正しい人の道を盛んにする新平城京のまちづくり」の行政を推進しています。あなたは、よりよいまちづくりのために、市政にどのようなことを望まれますか。（3つ選択）

1. ゴミ処理対策　26.7%（9.1%）
2. 防火・防災対策　14.9（5.1）
3. 交通安全対策　17.8（6.1）
4. 社会福祉対策　38.9（13.3）
5. 自然保護対策　28.2（9.7）
6. 上・下水道対策　30.9（10.6）
7. 幼児教育対策　6.7（2.3）
8. 生涯教育対策　9.6（3.3）
9. スポーツ振興対策　5.9（2.0）
10. 消費者保護対策　18.1（6.2）
11. 環境整備対策　18.4（6.3）
12. 河川浄化対策　9.5（3.2）
13. 道路整備対策　16.7（5.7）
14. 公害排除対策　12.7（4.4）
15. 医療・衛生対策　34.1（11.7）
16. その他　0.3（0.1）
17. わからない　2.8（1.0）

計　292.2（100.0）